

日本児童英語教育学会(JASTEC)中部支部 ミニ研究会(オンライン)

テーマ:「1人1台端末の時代!新しいICT活用は、何をどうすればいいの?」

今回の第1回中部支部ミニ研究会では、東口貴彰先生にワークショップをお願いしました。東口先生は日本国内では数少ないApple Distinguished Educators (ADE)の一人です。1995年に始まったADEプログラムのねらいを抜き出せば次のようになります。

1 to transform teaching and learning

2 to look to change the world

3 to make learning deeply personal for every student

誠に野心的で魅力的なねらいです。特に「一人ひとりの子どもに合った学習」を実現するためにICTを利用することは児童英語教育関係者の目指すところでもあります。

東口先生のワークショップを十分に味わい、時間の許す限り議論をすることによってさらに優れた教育者になっていただけることが、主催する中部支部担当者の喜びです。

The best educators are true innovators. (ADE program)

2022.1月 JASTEC 中部支部

支部長 杉浦宏昌

○日 時: 2022年2月13日(日) 13:30~15:40

○方 法: オンライン (Zoom)

○対 象: 児童英語教育に興味・関心のある方

○参加費: 会員無料, 非会員 1000円 (学生 500円)

○申込期間: 1月8日(土) ~ 2月11日(金)

○申し込み方法: 会員・非会員ともに、イベントペイでの事前申し込みが必要になります。

*なお、キャンセルは受け付けておりませんので、ご注意ください。

<申込 URL>

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=4315111658358156&EventCode=P432093589

①上記 URL にアクセス、もしくは QR からお申込み下さい。

②非会員の方は、御選びいただいた方法で、期日までにお支払いをお願いいたします。

③前日の 18:00 にリマインドメールが配信されます。

当日の zoom 情報及び資料等の共有リンクについては、後日メールでお伝えします。

○問い合わせ: JASTEC 中部支部

大会実行委員会 瀧沢広人 (takizawa@chichibu.ne.jp)



○プログラム

13:10～13:30 受付

13:30～13:40 開会の挨拶 杉浦宏昌（中部支部支部長・ラボ言語教育総合研究所）

事務連絡 加藤拓由（中部支部事務局長・岐阜聖徳学園大学）

13:40～15:10 ワークショップ

『小学校英語×ICT』コミュニケーションを豊かにするための ICT 活用のあり方

東口貴彰（関西大学初等部）

ワークショップでは、外国語活動・外国語科の授業における ICT の具体的な活用場面や ICT を効果的に活用した授業・単元の構成の方法、またその効果などについて、実際の子どもたちの姿や思考の変容をお示ししながら、お伝えさせていただきます。ICT 活用を目的化するのではなく、コミュニケーションを豊かにするための「ツール」としての ICT の活用のあり方を中心に、外国語活動・外国語科において ICT を活用することの意義や価値など、日々の実践を通じた研究の一端を紹介します。

講師紹介

世界に 2,947 人いる Apple Distinguished Educator の 1 人！関西大学初等部専任教諭で主に英語科を担当。情報教育副主任。元大阪教育大学附属平野小学校教諭（外国語活動・外国語科主任 / ICT・教育実習主任）。大阪市立小学校在職時には、大阪市教育研究会国際理解教育部会に所属し、英語部会のサブリーダーとして実践研究を進めた。主な著書に『小学校英語×ICT 楽しい！を引き出す活動アイデア 60』（明治図書）『学級づくり×ICT 1人1台端末の普段使いアイデア 55』（明治図書）等がある。また、教育貢献のため、iOS 向け無料英語学習アプリ『Rabbits えいごで言ってみよう』を開発している。

15:10～15:30 Q & A 意見交流

15:30～15:40 閉会の挨拶 巽徹（岐阜大学）

【問い合わせ先】

瀧沢広人（岐阜大学） takizawa@chichibu.ne.jp